

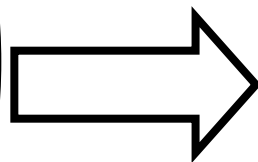
市民が主役の砂川まちづくり

砂川市協働のまちづくり講演会

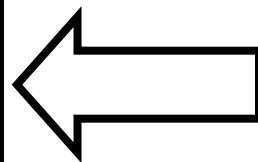
2012年6月

札幌学院大学 河西邦人

行政



協働



町内会
NPO
公益団体
事業者

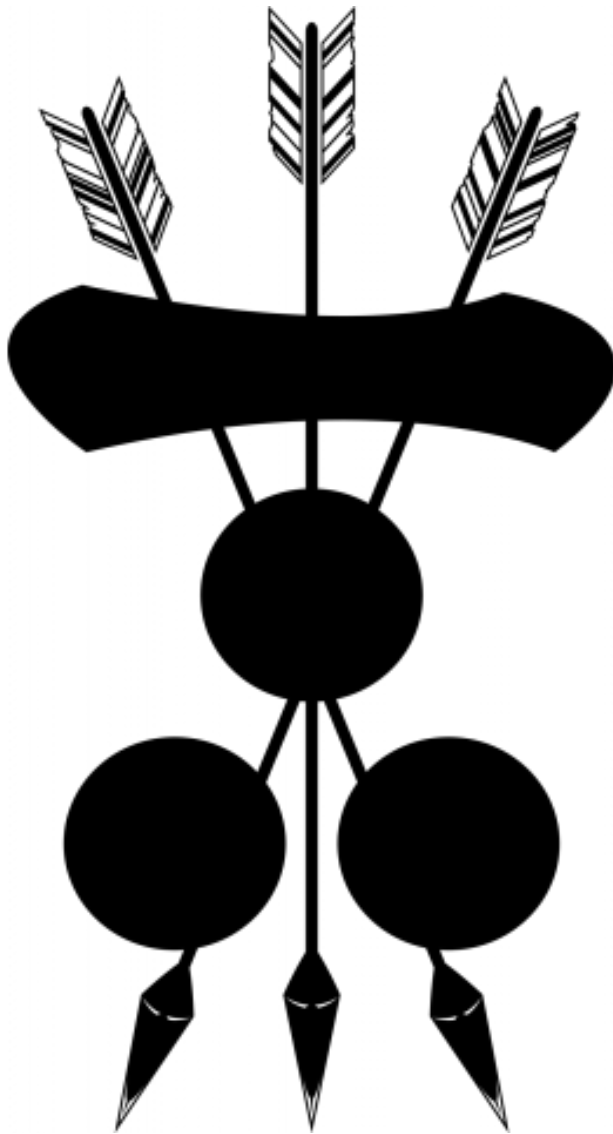
- ①限られた財源
- ②行政サービス見直し
- ③民間活用の認識

- ①自治意識の目覚め
- ②ニーズの自己充足
- ③公共サービス提供への意欲

協力して 働く

家庭内の家族同士、チーム内の選手
同士、役所内の職員同士、企業内の
社員同士→地域内の組織同士

毛利元就の「三本の矢」の逸話

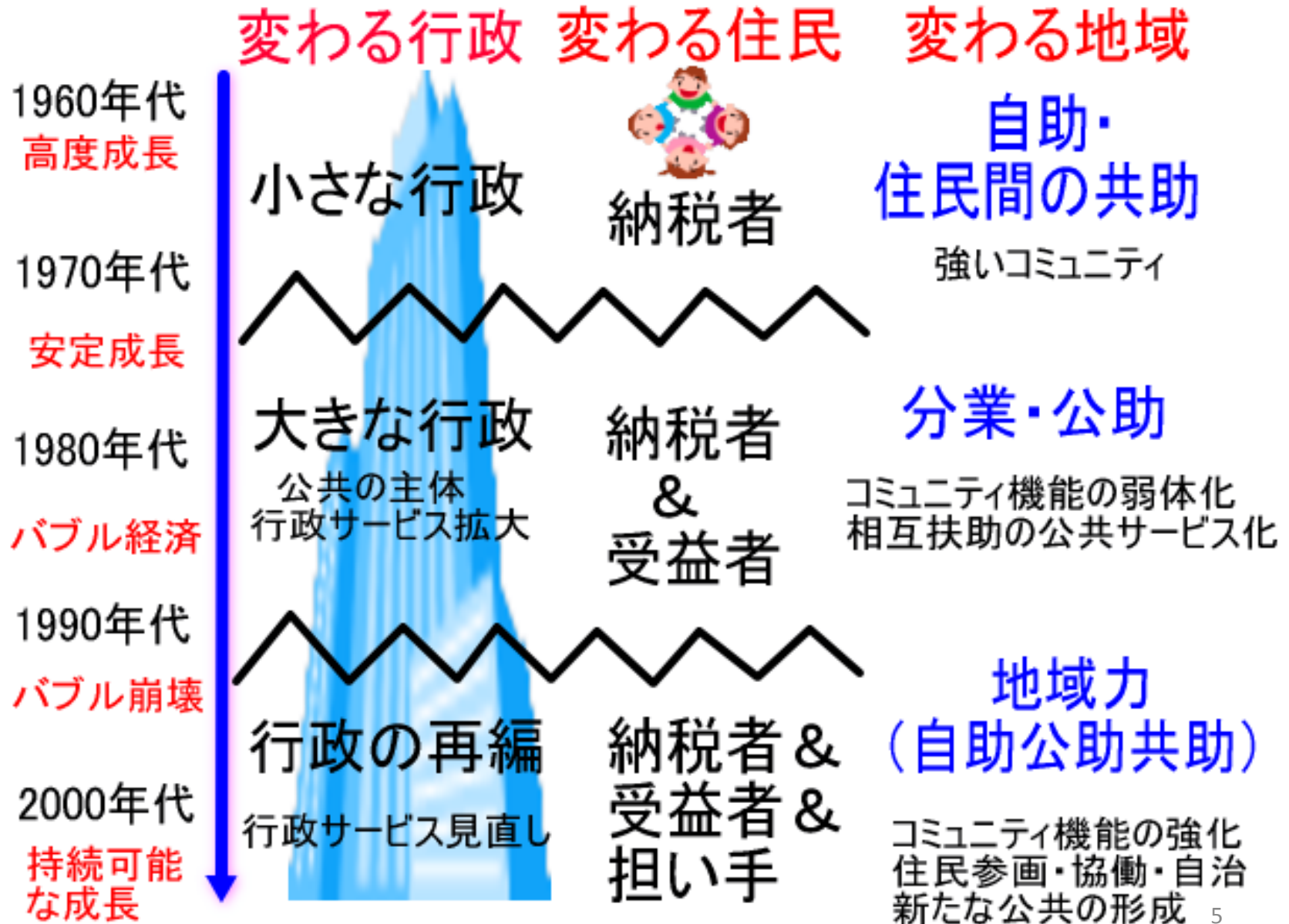


①地域社会における三本の矢は「市民」セクター、「産業」セクター、「行政」セクター

②矢を束ねること→協働

③矢を束ねる＝信頼＋目的の共有＋意欲＋コミュニケーション

公共の主体の変遷



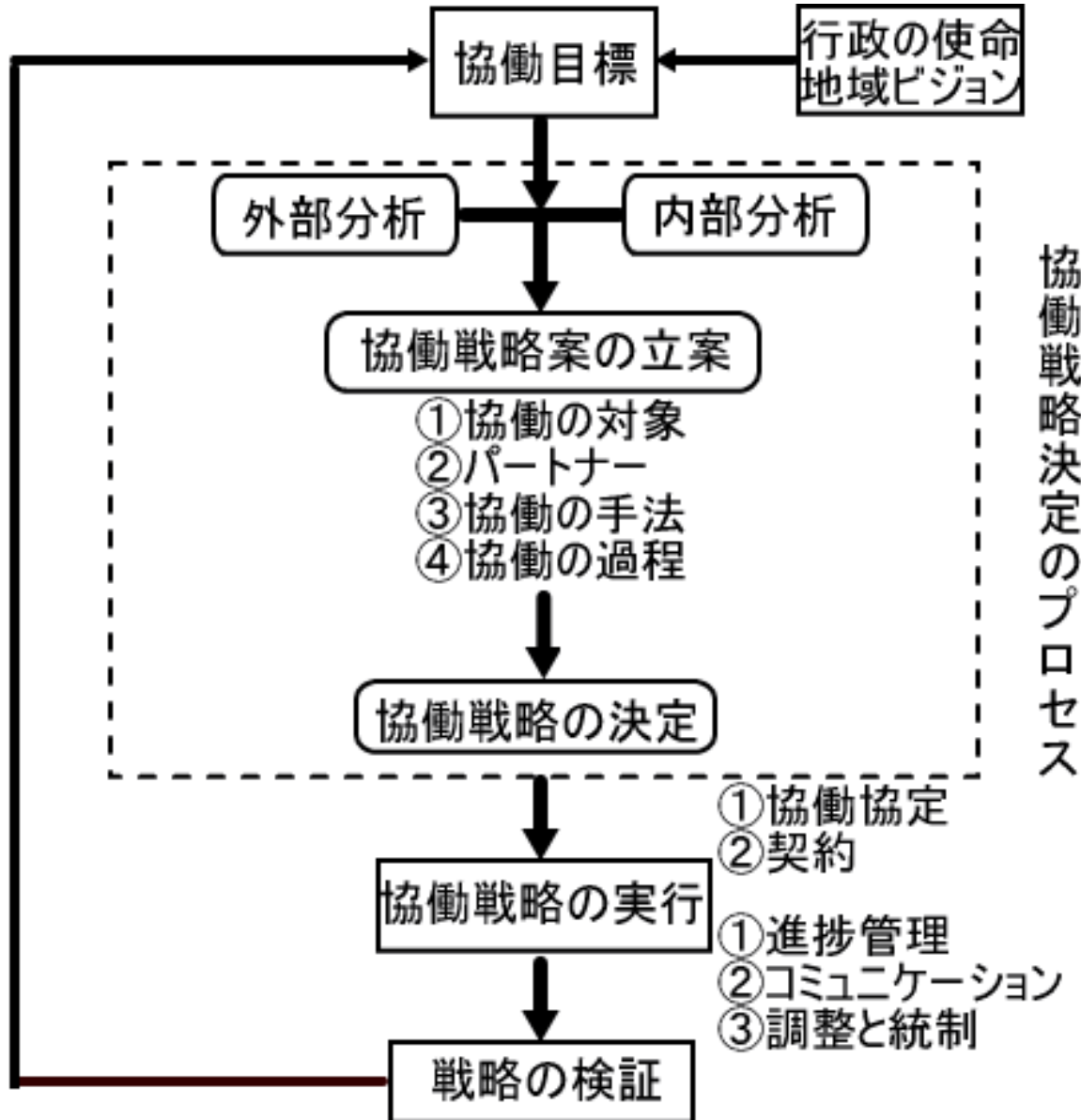
栄村の協働

- ①地域特性
 - 地域共同体社会(コミュニティ)が残る地域→共助や協働は住民にとって当たり前
 - 広域に集落が点在
- ②協働の内容
 - 田直しと道直し=国の予算を使わずに公共事業→村と住民の折半で費用負担→迅速な事業実施+費用低減
 - 下駄ばきヘルパー=集落の住民の中に介護ヘルパーを育てる+ヘルパー講座の費用は村が支出→集落内で高齢者支援が完結する
- ③成果
 - 雪害や地震があっても共助で乗り切る

協働の類型

- ①自主事業連携型の協働
 - NPO・町内会等の自主事業で行政と連携する
 - 連携方法では補助、後援、支援などがある
 - 市民の自発性や特性を活用できる
- ②行政事業参画型の協働
 - 指定管理者制度や業務委託など行政の事業でNPO・町内会等へ委託する
- ③共同事業型の協働
 - イベント等の事業を共同で実施する
 - 企画段階から共同で行う

協働戦略の策定手順



町内会が公共の担い手になれる？

- ①町内会の必要性
 - もっとも身近な共助のコミュニティ
- ②課題
 - 人口減少→加入世帯の減少
 - 高齢化→役員の担い手不足＋活動の縮小
- ③解決策
 - 町内会の統合
 - 町内会と他の住民団体との連携強化
 - テーマ型の活動による参加者確保→NPO的町内会
 - 行政の支援と協働による活動強化

滝川市の連合町内会の有償共助

- ①滝川市滝の川東地区連合町内会
 - 連合町内会内部のライフサポート事業部門として行なう
- ②事業内容
 - 有償の生活支援事業
 - 連合町内会内の市民のニーズ充足
 - 年間50万円程度の収入
- ③事業経営の仕組み
 - 連合町内会の有償ボランティア→無償では持続しない
 - 1時間800円で半分が人件費

市民がやりたいことを 実現する協働

- ①市民の自発性と自律性を活かす
- ②市民の活動を阻害しないような協働
- ③協働は手段であり、目的ではない

ニセコ町の図書館運営の協働

①ニセコ町の協働推進の推移

- 逢坂町長誕生(1994年)→情報公開+職員と住民への情報提供と働きかけ+有識者を呼んでのセミナー
- まちづくり条例の制定(2001年)

②協働の手法

- 住民による図書館運営→図書館が欲しい住民と財政難の行政→図書館建設検討委員会→旧郵便局の改装による図書館設置→有償ボランティアの住民が町予算で「町民学習センターあそぶっく」を運営→指定管理制度へ移行→NPO法人あそぶっくの会

③協働の成果

- 住民が望む公共施設設置
- より安い予算で公共サービス(図書提供)を提供

地域のお茶の間から地域食堂へ

- ① 高齢化する地域をどうにかしたい
 - 登別市幌別町の町内会有志の危機感→社協の支援＋企業経営者の好意→2008年「ゆめみ〜る」を開業
- ② 安定した持続的活動へ
 - 空き店舗活用→月～土(10時～18時)
 - 町内会の有志→NPO法人化
 - 高齢者のボランティア運営
 - 地域食堂運営
 - 高齢者サロン運営
 - 子育てサロン運営
 - 障がい者の豆腐等販売
 - 朝市で一次産品の販売



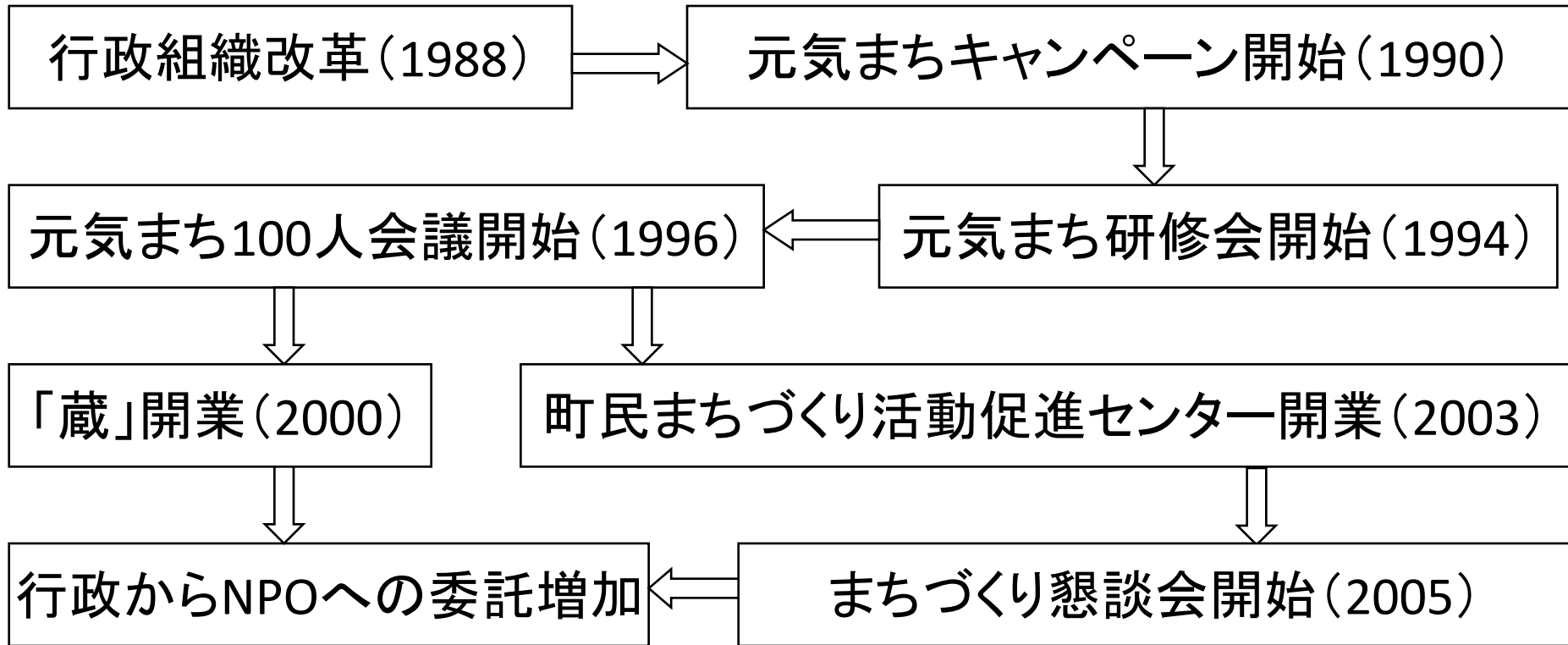
市民と行政の協働によるまちづくり

- ①行政が市民をエンパワー(力を与える)する
- ②目的に応じた協働を行う

白老町の協働の地域づくり

- ①協働の経緯
 - 行政組織の改革(1988年)とCommunity Identity運動「元気まち白老」(1990年)の開始→職員と町民の意識が変革していく→町民参画の地域づくり開始(1996年)
- ②協働の手法
 - 地域づくりの情報共有の場の設置＝研修＋委員会
 - 行政は黒子に徹する→住民の地域づくり構想を実現
 - 町内会連合会に住民活動・市民活動支援事業を委託
 - NPOへの支援と委託
- ③協働の成果
 - 住民自治の強化
 - 住民活動団体とNPOによる公共サービスの提供

白老町にみる協働推進



- ① 組織改革と合同研修で役場職員と住民の意識を変える
- ② 研修会や100人会議がまちづくりの場として機能する
- ③ 地域づくりのアイデアを実現するために、行政が支援

白老町町内会連合会の協働

- ①協働の経緯
 - 1995年 白老町が白老町町内会連合会の組織強化
 - 2003年 町民まちづくり活動促進センター事業を受託
- ②協働の手法
 - 白老町内の諸団体の事務局事業の受託
 - 白老町民の住民活動と市民活動の支援事業の受託
- ③協働の成果
 - 町民によるまちづくり活動の支援の仕組み
 - 自治体経営の変化→協働手法の積極活用
 - 自治意識の醸成→地区ごとのまちづくり計画

事例：(特)お助けネット

- ①協働の経緯
 - 1991年 子育てに悩んでいた中谷氏が新聞に投書→白老町の保健師から連絡→子育てサークルの結成
 - 1996年 託児グループ「ぽっぽ」を設立
 - 2003年 NPO法人お助けネットへ発展
 - 2007年 白老町からファミリーサポート事業受託開始
- ②協働の手法
 - 行政の委託(ひろば事業とファミリーサポート事業)
 - お助けネットの提案→白老町の事業企画→事業委託
- ③協働の成果
 - 公共サービスの多様化(公設公営+公設公営)
 - 子育て環境の向上+子育てビジネスでの就労機会

市民自治の手法の一つとしての協働

- ①市民自治を促す協働と支援
- ②市民と行政の役割分担

現南丹市(旧美山町)の協働

①人口5,000人、1955年に5か村合併で誕生した地域

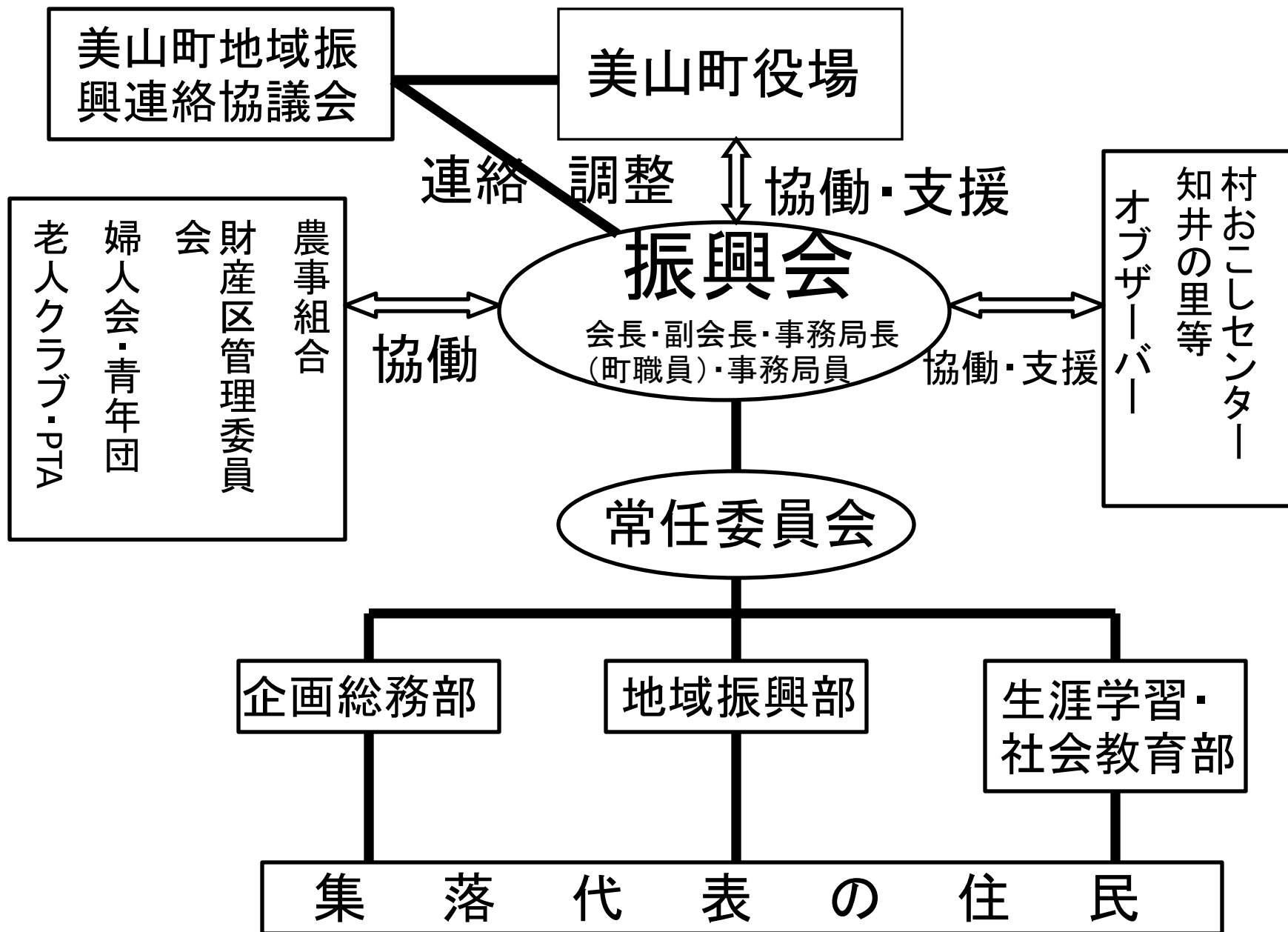
②協働の特徴

- 地域振興組織の設置
- 地域振興組織が予算を持ち地域づくりの計画と実行
- 行政の支援で住民自治を高める

③協働の成果

- 住民主導の公共事業
- 農協店舗撤退後に住民出資の店の経営
- 住民主導の地域(小学校区)づくり





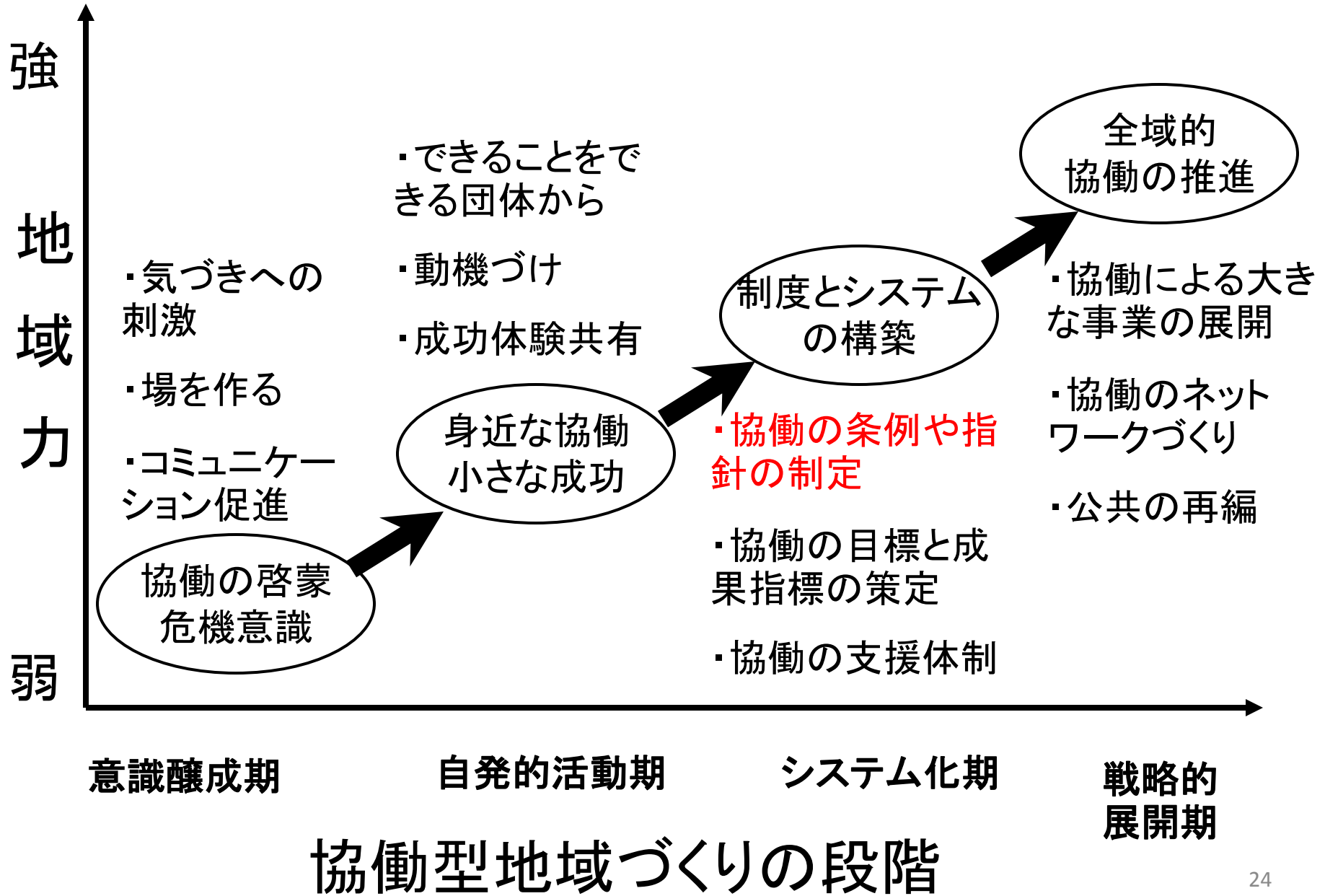
高浜市のまちづくり協議会

- ①高浜市の協働戦略
 - 人口4.4万人で工業地域
 - 1989年に民間企業の経営者である森貞述市長が誕生し、行財政改革を始める。
 - まちづくり協議会の設置による地域内分権の推進
- ②市民活動の促進と協働の推進
 - 2001年 地域福祉計画策定事業を開始
 - 2005年 高浜南部まちづくり協議会が設立される
- ③成果
 - 公民協働による宅老所やNPOの公共サービス提供
 - まちづくりの権限と予算→5つのまちづくり協議会→独自のまちづくりを実施

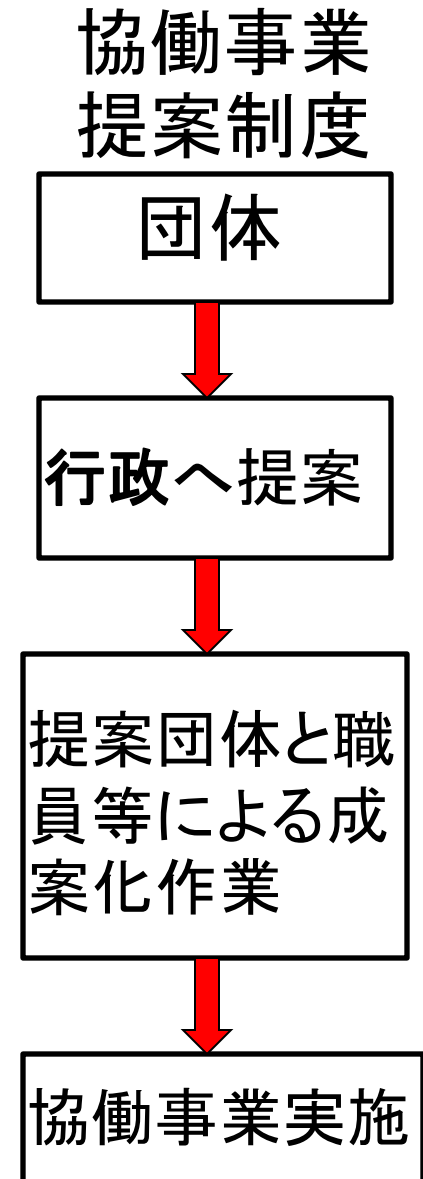
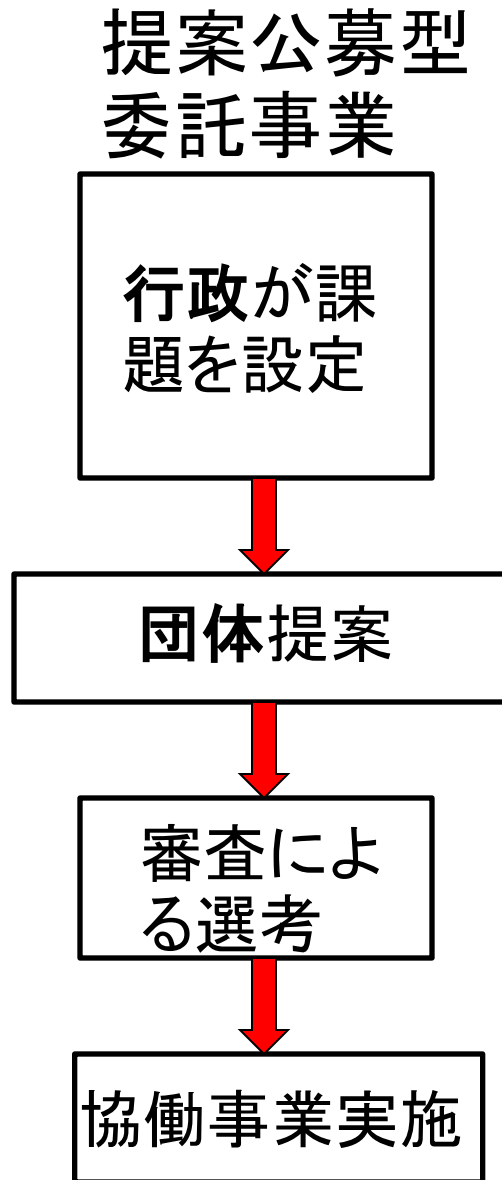
協働で地域を変革する

- ①協働はまちづくりの手段
- ②市民が主役になる協働を行う

協働を活用したまちづくりの過程



協働を行う3つの制度



南部町(旧西伯町)の「あいのわ銀行」

- ①あいのわ銀行の概要
 - しあわせで安心して暮らせる福祉のまちづくりへ向けて
 - 1996年に開始したボランティア預託制度
 - 参加者は中学生から高齢者まで
 - 管理は社会福祉協議会
- ②制度
 - ボランティアで提供した労力を点数化
 - 点数分持ち分だけボランティアを受けられる権利になる
 - 点数がなくても1時間100円で利用可能
- ③成果
 - ボランティア活動の活性化＋自治意識の向上

協働の指針作りに向けて

- ①地域のビジョンと協働の理念の明確化→砂川市の未来像＋市民のまちづくりの機会の提供＋市民と行政の役割と責任＋地域力による公共形成
- ②協働に向けての制度や環境の整備→パートナーの育成＋協働型の行政運営＋協働のルール
- ③協働の進め方＝協働の対象＋協働の方法＋協働の過程＋協働の事業の実施方法と進捗管理
- ④協働の評価とフィードバックの方法→共有と学習による協働の進化と深化

協働の成功の鍵

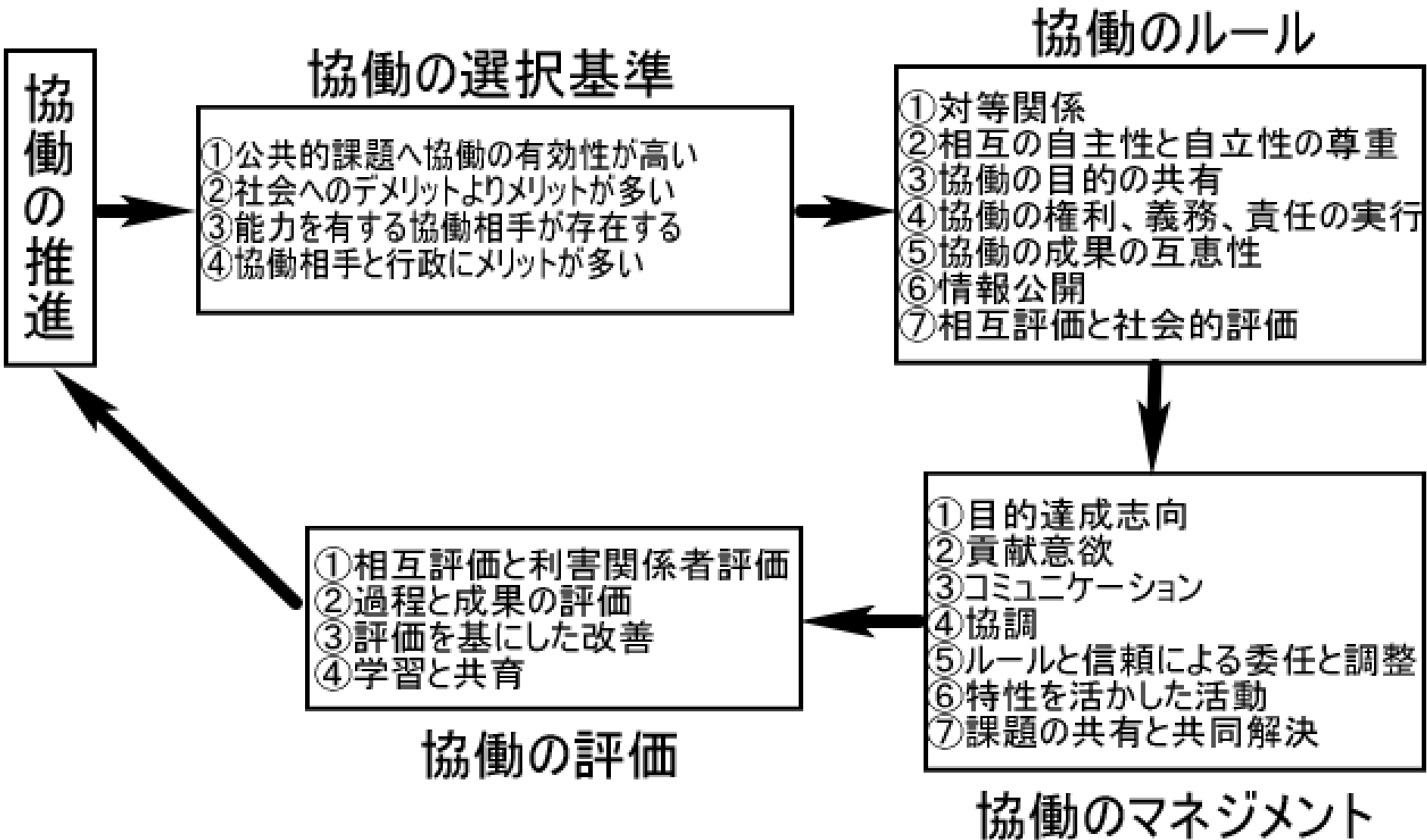
①地域経営レベル

- 協働推進役のリーダーや組織の存在＋行政側の努力
- 協働を創出し、実行し、推進するための場の存在
- 協働の理念・戦略＋行政職員と市民の意識＋協働を推進し、定着化させる構造（制度・体制・ルール・文化）
- 協働相手となり得る人・組織とのネットワーク、ネットワーク内の信頼関係（ソーシャルキャピタル）の存在

②事業レベル

- 協働推進の担当者の能力とファシリテーターの存在
- 協働のマネジメント＝理念と目的の共有＋役割分担＋動機づけ＋コミュニケーション＋ルールによる調整
- 市民も行政もまちづくりの権利、義務、責任を自覚する
- 協働からの互惠と相互学習

協働推進のサイクル



...ask not what your
community can do for you,
ask what you can do for
your community.